

2022 年度春期

ワイカト大学語学研修 報告書 (7 名分)

2022 年 3 月 8 日～2023 年 4 月 2 日

ワイカト大学春期語学研修 報告書

報告日： 2023年 4月 15日

氏名： 柳 侑香里

留学先大学（国名）	国立ワイカト大学（ニュージーランド）
短期研修プログラム	ワイカト大学夏期英語研修
研修期間	2023年3月8日～2023年4月2日

1. 留学前の準備について（応募動機、申込み手続き、語学対策など）

語学力向上のため。海外での大学生活に興味があったため。

2. 研修内容や大学（授業内容、形態、学生同士の交流、アクティビティ等）

他学校の生徒との関わりが多くあった。具体的には、金沢大学、会津大学、大阪経済大学、立教大学の生徒と交流をもった。授業は、お互いに日本語を禁止して、英語で会話することを重視したクラスだった。放課後のイングリッシュクラブでは、ワイカト大学でコンピューターサイエンスを学ぶ日本人の学生に合うことが出来、そのような進路方法もあるのだと勉強になった。また英語がとても流暢で憧れをもった。アクティビティとしてワイトモ洞窟へ行ったが、正直、別で利用させて頂いた現地のツアーの方が多くの場所を訪れることが出来楽しく、コスパが良いような気がした。

3. 生活（住環境、食生活や健康管理、危機管理、持参してよかったもの）

ホストファミリーについて	洗濯やお昼ごはんは素材の使用を許可してもらい、すべて自分でやるのが普通だった。ホストマザーは妊婦さん、ホストファザーは看護師で夜勤をしており昼間は寝ていて夜10時付近から働きに出かけ、朝の7時付近に帰ってくるという生活をしていたため、あまり関わりや面倒を見てくれない感じであった。 自分のことは自分で出来るように準備をしていった方が良かったかもしれない。
食事、健康管理	花粉症がひどかった。鼻水が凄く出ていた。食事は、多文化が混ざっているような感じ。カレーが沢山出た。
持参してよかったもの (理由)	家の周りに雑木林や植物が沢山ある家が普通であったため、虫が沢山入ってきた。自分の部屋にも虫の死骸が沢山落ちていた。虫除けスプレーにとっても助けられた。
危機管理 (危険な目に遭わないために気をつけていたこと、少しでも危険を感じ	特になし。

たことなど)	
--------	--

研修費用および金銭管理について（さしつかえなければ、おおよその金額を教えてください）

項目	金額	備考
航空運賃	220,790 円	
海外旅行保険	円	
研修費用	340,090 円	入学登録料, 授業料, ホームステイ, 空港送迎料, 大学学生保険等を含む。
滞在費	0 円	ホームステイ
食費	円	
交通費	円	
その他（小遣い, 通信費など）	10 万円	
合計		60 万円

★思い出になったエピソードを自由にお書きください。

（写真を添付して、その様子の説明をご記入ください *ここに貼り付けなくても OK です）

ニュージーランド滞在中での最も大胆な冒険の一つは、長距離バスのインナーシティバスを利用して一人でオークランドを観光したことだった。オークランドは、ハミルトンよりも現代的な建物が多く建ち並ぶ都市であるが、古い西洋風の建物が議会堂やお店などに残り、今と昔が調和して美しい都市だった。特に印象に残っているオークランド博物館は、日本では考えられないほどスケールが大きく、多様な展示品と展示スペースを誇る博物館で、私は3時間ほどで素早く全体を周りましたが、丸一日かけて、もっとじっくりと見たいと思うくらいの場所だった。展示品は、先住民マオリの伝統工芸品、建物、文化、歴史についての展示、噴火・地震などの自然災害に対する啓発的な展示、恐竜やマンモスの化石などの古代世界の展示、第一次・第二次世界大戦、そしてその犠牲となったニュージーランド人たちに捧げられた大理石の礼拝堂など、多彩で面白かった。日本では考えられないほどの広範な展示で、魅力的な全てが詰まった壮大な博物館にとっても驚かされた。また、小高い丘のような場所に建てられた博物館からは、オークランドの海や対岸の島、周りの景色を堪能することができ、帰宅前に素晴らしい経験をした。

★次年度の参加者へ向けてのメッセージをお願いします！

はじめは緊張してなかなか行動し出来ないかもしれませんが、次第に慣れてきます。安心してニュージーランドへの旅に出てください！たのしいですよ！

ワイカト大学春期語学研修 報告書

報告日：2023年 4月16日

氏名：渡邊万祐

留学先大学（国名）	国立ワイカト大学（ニュージーランド）
短期研修プログラム	ワイカト大学夏期英語研修
研修期間	2023年3月8日～2023年4月2日

1. 留学前の準備について（応募動機、申込み手続き、語学対策など）
ホームステイをしてみたいと思い申し込みました。語学対策などは特別なことは特に何もしてませんでした。
2. 研修内容や大学（授業内容、形態、学生同士の交流、アクティビティ等）
大学で他の学生とコミュニケーションをとりながら英語を学習しました。週末や放課後は友達と観光したり遊びに行ったりしました。
3. 生活（住環境、食生活や健康管理、危機管理、持参してよかったもの）

ホストファミリーについて	夜ホストファミリーと一緒に映画を見ながらお話をしました。
食事、健康管理	食事は日本よりはシンプルで、朝はシリアルかトースト、昼はサンドイッチとフルーツとヨーグルト、夜はジャガイモと肉やパスタなどでした。体調をくずすことはなかったです。
持参してよかったもの（理由）	昼と夜の寒暖差が大きくて寝る時は寒かったので、ヒートテックを持って行ったのが良かったです。
危機管理（危険な目に遭わないために気をつけていたこと、少しでも危険を感じたことなど）	スーツケースは毎日鍵をかけるようにしていました。また、財布はスキミング防止のものにしていました。

研修費用および金銭管理について（さしつかえなければ、おおよその金額を教えてください）

項目	金額	備考
----	----	----

航空運賃	220,790 円	
海外旅行保険	円	
研修費用	340,090 円	入学登録料, 授業料, ホームステイ, 空港送迎料, 大学学生保険等を含む。
滞在費	0 円	ホームステイ
食費	14,000 円	アイス、外食など
交通費	2,000 円	バス
その他（小遣い、通信費など）	95,000 円	ツアー、お土産
合計		670,000 円

★思い出になったエピソードを自由にお書きください。

（写真を添付して、その様子の説明をご記入ください *ここに貼り付けなくても OK です）

週末にツアーでホビット村やワイトモ洞窟、ロトルア、タウポ湖、オークランドなどいろいろなところに行きました。

★次年度の参加者へ向けてのメッセージをお願いします！

ワイカト大学春期語学研修 報告書

報告日： 2023年 4月 13日

氏名：樋口怜彩

留学先大学（国名）	国立ワイカト大学（ニュージーランド）
短期研修プログラム	ワイカト大学夏期英語研修
研修期間	2023年3月8日～2023年4月2日

1. 留学前の準備について（応募動機、申込み手続き、語学対策など）

英語の勉強とネイティブな英語に触れてみたかったから。

ニュージーランドで行ってみたい場所などを日本語と英語の両方で調べた。

2. 研修内容や大学（授業内容、形態、学生同士の交流、アクティビティ等）

授業中は先生と英語で会話する。グループワークが多かった。現地の学生にインタビューをしたり、図書館で英語の本を読んだり、英語のボードゲームみたいなものをした。

イングリッシュクラブでは現地の学生と交流する良い機会だった。同じクラスの学生とも仲良くなれた。

現地のツアーでホビット村、ロトルア、タウポ湖などに行き、自分たちでオークランド、ハミルトンガーデン、ハミルトン動物園にも行った。

3. 生活（住環境、食生活や健康管理、危機管理、持参してよかったもの）

ホストファミリーについて	私のホストファミリーは3人家族で小学生のホストブラザーが1人いた。学校のある都市部からは離れたところに住んでいたため、毎朝送り迎えをしてくれた。学校の後や休日に遊びに行く時はお願いして都市部まで送ってもらった。田舎の方だったので虫が多かった。近所に牛や羊などの動物を飼っている家が多かったため、散歩の時に近づいて、見ました。
食事、健康管理	朝食は食パンにチョコやバターを塗って食べた。初日に朝食の作り方を教えてもらった。昼食は学校の時はお弁当を作ってもらった。夕食は色々な国の料理が出てきた。例えば、フィッシュ&チップス、タコス、タイ料理など。初めて食べるものも多かったがどれも美味しかった。たまにお米も出てきた。お風呂は、私のホストは時間制限は特に言われなかったが、シャワーなので15分から20分ぐらいで終わった。寝るのはとても早く、9時半にはベッドに入っていた。朝と昼間の寒暖差が激しく、暖かい服を現地で買うことに

	なった。
持参してよかったもの (理由)	デビットカード 基本的にキャッシュレスなので、クレジットカードを何枚か用意しておくといいと思います。デビットカードは上限がなく、ATMで下ろせるのでおすすめです。
危機管理 (危険な目に遭わないために気をつけていたこと、少しでも危険を感じたことなど)	基本的に治安はいいので特に危険なことはなかった スキミング防止の財布を使った。 あまり夜遅くまでは外出しない

研修費用および金銭管理について（さしつかえなければ、おおよその金額を教えてください）

項目	金額	備考
航空運賃	220,790 円	
海外旅行保険	円	
研修費用	340,090 円	入学登録料, 授業料, ホームステイ, 空港送迎料, 大学学生保険等を含む。
滞在費	0 円	ホームステイ
食費	7000 円	外食した時やお菓子
交通費	1000 円	
その他（小遣い, 通信費など）	30000 円	用意した現金
合計		円

★思い出になったエピソードを自由にお書きください。

（写真を添付して、その様子の説明をご記入ください *ここに貼り付けなくてもOKです）

タウポ湖、ロトルア、オークランド、ワイトモ洞窟、ホビット村に旅行にいったことです。タウポ湖ではパラセーリングとジェットボートを体験しました。ロトルアでは羊の毛刈りショーや間欠泉を見たり、ゴンドラに乗ってルージュというアクティビティもしました。オークランドではマウント・イーデンやオークランド博物館、クイーンズストリートに行きました。ワイトモ洞窟はとても綺麗で、写真を撮れないことがとても残念でした。ホビット村はとても可愛く写真を撮るスポットがたくさんありました。最後にドリンクを頼めるのですが、そこで買えるお菓子がとても美味しいのでぜひ食べてみてください！観光を詰めたので忙しかったですが、とても充実したニュージーランド留学になりました。

★次年度の参加者へ向けてのメッセージをお願いします！

とても楽しく、帰りたくなくなります。迷っている方は説明だけでも聞いてみてください。
休日は積極的に出かけることをお勧めします。多くの種類のアイスクリームショップがあるので、色々なところに行ってみてください。

ワイカト大学春期語学研修 報告書

報告日：2023年4月15日

氏名：神鳥有沙

留学先大学（国名）	国立ワイカト大学（ニュージーランド）
短期研修プログラム	ワイカト大学夏期英語研修
研修期間	2023年3月8日～2023年4月2日

1. 留学前の準備について（応募動機、申込み手続き、語学対策など）

・応募動機

以前から留学をしてみたいと思っていたが、高校までは機会に恵まれず、大学に入学したら留学に行こうと思ったのに、入学早々コロナの影響で留学関係のイベントが軒並み中止になり、行けずにいた。その中で国際交流センターの語学研修の募集を見てちょうど良い機会だと思い、参加しようと思った。英語学習のための動機としては、院試や就職に必要なTOEICのリスニングのスコアが伸停滞気味だったので少しでも伸ばしたいと思ったので参加した。

・申し込み手続き

11月の始めに海外研修の説明会に参加、パスポートの申請、11月中旬に国際交流センターに参加の申請、11月末にワイカト大学への申込書類の提出

・語学対策

ラジオ英会話を毎日登下校中に聞いていた。

2. 研修内容や大学（授業内容、形態、学生同士の交流、アクティビティ等）

授業はグループワークの形式で与えられたテーマについてディスカッションをする授業が多かった。似たようなレベルの人と同じクラスだったので臆せずに話すことができ、自分の考えを話す機会が多かったので話しながら様々な単語の使い方を習得できた。週に1度、現地の学生にアンケートを取りに行く授業があり、ワイカト大学の学生と話す機会となりアンケートを通していろんな意見を聞いたのが楽しかった。他には教科書の読解やレポート課題、スペリングクイズ、英語の音楽の聴き取り問題などがあり、文法・リーディング・スピーキング・リスニングを満遍なく学べた。

学生通しの交流の場としては先に挙げたインタビューの授業の他に、木曜日の放課後に行われるイングリッシュクラブで現地の学生と話す機会があった。また、本語学研修ではGeneral Englishコースの授業を受けるが、同じ校舎でAcademic Englishコースの授業も

開講されており、その授業にベトナムやミャンマー出身の学生もいたので休み時間に関わる機会があった。

3. 生活（住環境、食生活や健康管理、危機管理、持参してよかったもの）

ホストファミリーについて	<p>マオリ系のおばあさん一人暮らしの家庭だった。日本人のホストチューデントを受け入れ慣れているようで、LINE をスマホにインストールしていたので連絡は基本LINE で行った。</p> <p>食事は毎日3食用意してくれたので不自由しなかった。洗濯とお風呂は好きな時にしていいと言われたのでシャワーは毎日、洗濯は週に2回自分の分を何度かに分けて行った。</p> <p>大学まで徒歩20分の家だったので登下校は徒歩だったが、出かけた日などバスの無い時間に帰宅するときは車で送り迎えしてくれた。</p> <p>普段から友達や親戚を呼んで家に泊めているようで私の滞在中に4組の宿泊があり、たくさんの人と知り合いになることができた。</p> <p>料理の名前やマオリ語など、何でも教えてくれて英語の発音についても時々教えてくれた。</p>
食事、健康管理	<p>朝食はトーストかコーンフレークとフルーツ、そしてヨーグルトだった。昼食のお弁当はトマトやハム、チーズ、チキンなどのサンドイッチとヨーグルト。晩ご飯はジャガイモをメインに野菜やチキンの炒め物の日が多く、ピザやパイ、焼きそば、フィッシュアンドチップス、蒸し料理の日もあった。基本食事の時の飲み物がジュースかサイダーだった。</p> <p>外食は1食NZ\$15程度かかり、ペットボトルの水は1本NZ\$3程度で物価は高めだった。大学にウォーターサーバーがあるので学生の多くは水筒や空のペットボトルを持ってきてそこで補給していた。</p> <p>生野菜の価格が高いためにあまり食べず、料理は脂っこいものが多かったので持参していたビタミン剤で補給していた。</p>
持参してよかったもの (理由)	<p>コンセントの変換器…日本のコンセントと形が違うので持って行ってたことでスマホやPCの充電ができた。</p> <p>Air Tag…ものをなくす機会は無かったが、スーツケースに入れておくことで飛行機に自分の荷物が運び込まれているか、や無事到着しているかが確認できて安心だった。</p> <p>電子辞書…授業中に気になった単語をすぐに調べられて便利だった。</p>

	<p>た。</p> <p>薬…ビタミン剤、痛み止め、花粉症の薬、正露丸を持って行っていたが異常を感じたときに飲み慣れた薬があって安心だった。</p> <p>ウェットティッシュ…出先で食べ物を買ったときにウェットティッシュがついてこないので手を拭くために持っているのが便利だった。</p> <p>日本についてまとめたノート…自作のノート。ジュージーランドと日本の比較や食文化、名所を写真付きでまとめたノートを作っていたので、知り合った人が日本に興味を持ってくれたときに見せながら話すと話の種になり、ニュージーランドのことについてもたくさん教えてくれたので持って行って良かったと感じた。</p>
<p>危機管理</p> <p>(危険な目に遭わないために気をつけていたこと、少しでも危険を感じたことなど)</p>	<p>スキミング防止のウエストポーチに財布やパスポートを入れて肌身離さず持ち歩くようにしていた。</p> <p>バスの乗車中は物を盗られないように寝ないようにしていた。</p> <p>物を無くしたときのために財布と全ての鞆に Air Tag をつけていた。</p> <p>上記のような危機管理をしていたが、危険を感じることは特になかった。</p>

研修費用および金銭管理について（さしつかえなければ、おおよその金額を教えてください）

項目	金額	備考
航空運賃	220,790 円	
海外旅行保険	15,840 円	
研修費用	340,090 円	入学登録料、授業料、ホームステイ、空港送迎料、大学学生保険等を含む。
滞在費	0 円	ホームステイ
食費	20,000 円	
交通費	12,000 円	現地での交通費
交際費	62,000 円	
お土産費	25,000 円	
その他（必要経費、通信費など）	42,000 円	前泊の宿泊費、自宅から空港までの往復代、パスポート申請代、ビザ代、現金引き出し手数料等を含む
合計		740,000 円

★思い出になったエピソードを自由にお書きください。

(写真を添付して、その様子の説明をご記入ください *ここに貼り付けなくても OK です)

・アイスクリーム



ニュージーランドの乳製品はどれもとてもおいしかったですがその中でも特にアイスクリームは絶品でした。2日に1回程度学校帰りにいろいろなアイスクリーム屋さんを巡り楽しみました。日本より濃厚そうなチョコレートのアイスやニュージーランドでメジャーのホーキーポーキー味のアイスやフルーツを目の前で搾って作るリアルフルーツアイスクリームなどどれもとてもおいしかったです。

ニュージーランドに行った際はぜひリアルフルーツアイスクリームを食べてほしいです。

ウォーターアクティビティ

ニュージーランドは四方を海に囲まれ、自然にも恵まれているので海、湖、川が身近で様々なウォーターアクティビティを楽しむことができます。私はタウポ湖でパラセーリング、ワイカト川でジェットボート、ワイトモ洞窟でボートに乗って散策、タウランガ海岸で海に入るなど、留学期間中にニュージーランドの自然を楽しみました。多くは現地で手配した学生用のツアーで行きました。大体 NZ\$100



~200 程度で家までの送迎、昼食付きだったので日本の旅行会社を通して予約するよりも安い料金で行くことができたので休日もニュージーランドを満喫するためにこれらのアクティビティを楽しむことをおすすめします。利用したツアー会社 : Tino pai tours (URL: <https://www.tinopaitours.com>)

★次年度の参加者へ向けてのメッセージをお願いします！

少しでも興味があり、時間とお金が出れば是非参加することをおすすめします。参加して後悔はありません。英語力はあるに超したことはありませんが、三週間英語だけで過ごすとかかなり理解できるようになるので、この語学研修は英語力如何に関わらず誰でも参加できるプログラムだと思います。私は初めての海外でしたが、同じ大学から何人も学生が参加し行きの空港から一緒に行動するのでわからないことがあっても相談しながら解決できたので安心でした。私のように初めて海外に行く人は三重大とワイカト大学双方の手厚いサポートがあって安心だし、留学経験がある人も平日の充実した授業と自由な土日の3週間でニュージーランドを語学と娯楽ともに満喫できると思います。

ワイカト大学春期語学研修 報告書

報告日： 2023年 4月 16日
氏名： 今井 咲菜

留学先大学（国名）	国立ワイカト大学（ニュージーランド）
短期研修プログラム	ワイカト大学夏期英語研修
研修期間	2023年3月8日～2023年4月2日

1. 留学前の準備について（応募動機、申込み手続き、語学対策など）
海外に行ったことはありましたが、3週間と長い期間滞在したことがなく参加してみたいと思ったからです。
2. 研修内容や大学（授業内容、形態、学生同士の交流、アクティビティ等）
平日は大学で英語の授業を受けました。午前は教科書に沿って進んでいくような感じで問題を解いたり、話し合いが多かったです。午後はクイズやスゴロクなどのアクティビティ的な内容でした。最初の方は他大学の日本人学生の方が多くいらっしゃいました。放課後は学校の近くでアイスを食べたり、スーパーに寄ってから帰ったりしていました。週末はいろいろなところに観光に出かけました。
3. 生活（住環境、食生活や健康管理、危機管理、持参してよかったもの）

ホストファミリーについて	1歳、4歳、8歳の子どもがたちとそのお父さん、お母さんそして地チワワが1匹いる家庭でした。子どもたちが仲良くしてくれてとても楽しかったです。お父さんやお母さんたちも忙しそうでしたが時間のある時には一緒に話したりしました。みんなとてもやさしい人たちでした。
食事、健康管理	基本、朝昼晩のご飯をホストファミリーの人たちが準備してくれていました。なじみのない料理も多くありましたが美味しかったです。
持参してよかったもの（理由）	エコバック 買い物をしたときや、お風呂に入るときに必要なものを入れるの便利だったから。
危機管理 (危険な目に遭わないために気をつけていたこと、少しでも危険を感じたことなど)	貴重品は常に持ち歩いていました。

研修費用および金銭管理について（さしつかえなければ、おおよその金額を教えてください）

項目	金額	備考
航空運賃	220,790円	
海外旅行保険	14,210円	
研修費用	340,090円	入学登録料、授業料、ホームステイ、空港送迎料、大学学生保険等を含む。
滞在費	0円	ホームステイ
食費	円	

交通費	円	
その他（小遣い、通信費など）	約 65,000 円	観光代、お土産代
合計		640,090 円

★思い出になったエピソードを自由にお書きください。

（写真を添付して、その様子の説明をご記入ください*ここに貼り付けなくても OK です）

週末はニュージーランドの観光地に出かけてとても楽しかったです。特に海辺を歩いたり、小さい山から街を眺めたりニュージーランドの風景がとてもきれいで良かったです。

ホストファミリーの家では毎日家に帰ったらホストシスターと折り紙を折っていました。一緒に作り方を見ながらいろんな作品を作るととても楽しかったです。

★次年度の参加者へ向けてのメッセージをお願いします！

ニュージーランドを楽しみたい人や楽しく留学したい人におすすめです。

ワイカト大学春期語学研修 報告書

報告日： 2023 年 4 月 12 日

氏名：長田佳奈

留学先大学（国名）	国立ワイカト大学（ニュージーランド）
短期研修プログラム	ワイカト大学夏期英語研修
研修期間	2023 年 3 月 8 日～2023 年 4 月 2 日

1. 留学前の準備について（応募動機、申込み手続き、語学対策など）

国際交流チームのメールを見て行ってみたいと思い応募しました。

2. 研修内容や大学（授業内容、形態、学生同士の交流、アクティビティ等）

授業内容自体は簡単なゲームや現地学生へのインタビューがありました。やる内容自体は簡単でしたが説明が全て英語なので丁度良いレベルでした。他の大学からも留学生が来ており仲良くなることが出来ました。

3. 生活（住環境、食生活や健康管理、危機管理、持参してよかったもの）

ホストファミリーについて	とても優しかったです。 家もとても綺麗で洗濯は週2でした。
食事、健康管理	ご飯の用意をしてくれる時に好き嫌いを細かく聞いて貰えたので口に合わず食べられなくて困ることは無かったです。お昼は自分でサンドイッチを作って学校へ持って行ってました。学校ではおやつのある時間があるため、学校へ持って行くおやつも準備してくれたり、夜ご飯の後にはデザートを出してくれたりお菓子を食べる機会がとても多かったです。
持参してよかったもの （理由）	朝は冬のように寒かったけど、昼は夏のように暑かく1日の寒暖差がとても大きく服装が難しかったので幅広い種類（暑い時用、寒い時用）の服装があると便利かと思います。
危機管理 （危険な目に遭わないために気をつけていたこと、少しでも危険を感じたことなど）	ニュージーランドの方たちはとても優しかったです。 こんにちはとカタコトの日本語で話しかけてくれる方もいました。 バスの中の小学生がうるさいくらいで治安の悪さを感じることはありませんでした。

研修費用および金銭管理について（さしつかえなければ、おおよその金額を教えてください）

項目	金額	備考
航空運賃	220,790 円	
海外旅行保険	約 15,000 円	
研修費用	340,090 円	入学登録料, 授業料, ホームステイ, 空港送迎料, 大学学生保険等を含む。
滞在費	0 円	ホームステイ
食費	円	
交通費	3,000 円	
その他（小遣い, 通信費など）	約 10 万円	観光代, 家でご飯を食べないときの食費, お土産代など
合計		約 700,000 円

★思い出になったエピソードを自由にお書きください。

（写真を添付して、その様子の説明をご記入ください *ここに貼り付けなくても OK です）

ホストファミリーが紹介してくれる現地のツアー会社を利用して色々な所へ行けました。ロトルアツアーとホビットンが特に印象に残っています。ロトルアではたくさんの種類の羊を見ることができ、とてもかわいかったです。ホビットンは美しい自然と建造物でした。また、タウポ湖でパラセーリングをしたのは、日本ではなかなかできない体験だったので思い出深いです。





★次年度の参加者へ向けてのメッセージをお願いします！

日本では体験できないこともたくさん体験でき、さらに、ニュージーランドには色々な人種の方がいるので沢山の異文化交流ができました！

とっても思い出深い3週間だったので、ぜひ行ってほしいです！！

ワイカト大学春期語学研修 報告書

報告日：2023年4月16日

氏名：井越彩加

留学先大学（国名）	国立ワイカト大学（ニュージーランド）
短期研修プログラム	ワイカト大学春期英語研修
研修期間	2023年3月8日～2023年4月2日

1. 留学前の準備について（応募動機、申込み手続き、語学対策など）

大学在学中に一度は留学や語学研修などに参加したいと以前から考えていましたが、半年や1年間といった期間は自分にとってハードルが高く、就活が始まるタイミングとの兼ね合いもありなかなか踏み切れずにいました。しかしこのプログラムは4週間弱という期間であり、語学研修だけでなくホームステイも経験できるという点に魅力を感じ、応募しました。

2. 研修内容や大学（授業内容、形態、学生同士の交流、アクティビティ等）

クラスでは4人ほどのグループになり、先生が出した様々なテーマについて自分の意見を英語で伝え合う、といった形式の授業が多かったです。また、図書館で各自英語の本を読んでその内容をグループのメンバーに共有したり、休み時間中の現地学生にお題に沿ったインタビューを行ったりする授業もありました。私のクラスは全部で20人ほどおり、全て日本人でした。少し残念ではありましたが、それでもお互いの大学のことやホストファミリーのことなどを話し合えたのは良い刺激になりました。クラスの雰囲気もとても良く、聞き手は発表者の話に耳を傾け、しっかりと相槌を打ったり、質問をしてその話題を広げようとしたりする姿勢で溢れていました。

3. 生活（住環境、食生活や健康管理、危機管理、持参してよかったもの）

ホストファミリーについて	高齢のホストマザーが一人で暮らしている家庭でした。とても優しく、お腹が空いていないか、寒くないか、など常に細かく気にかけてもらいました。最後の1週間は、ホストマザーのお姉さんとその娘と孫の3人が遊びに来ていたため、とても賑やかでした。
食事、健康管理	食事は全て美味しかったものの、野菜はほとんど出ませんでした。朝食はシリアル、昼食はサンドイッチとヨーグルト、チーズなどを用意してくれました。夕食は魚や肉がメインで、主食としてジャガイモが出るが多かったです。
持参してよかったもの（理由）	ヒートテックや暖かい上着は持参して良かったと感じます。現地は秋で、昼間は半袖や長袖1枚で丁度良かったのですが、朝はとても寒

	<p>く白い息が出るほどでした。寒暖差が激しく風邪を引いたというクラスメートも何人かいました。</p> <p>また、クレジットカードを持参する際には余裕をもって利用上限額を設定しておくことに加え、キャッシング枠を設定しておいた方が良かったと感じます。基本的に現金は必要ありませんでしたが、現地のツアー代金は基本的に現金で支払いでした。キャッシング枠があれば現地の銀行ですぐに現金が引き出せるため、設定しておくことをお勧めします。</p>
<p>危機管理 (危険な目に遭わないために気を付けていたこと、少しでも危険を感じたことなど)</p>	<p>パスポートや貴重品は自分の部屋のスーツケースの中に入れて鍵をかけていました。滞在中に何か危険を感じたことはありませんでしたが、バスは日本では考えられないほど混雑していて、とても騒がしかったので少し警戒していました。</p>

4. 研修費用および金銭管理について（さしつかえなければ、おおよその金額を教えてください）

項目	金額	備考
航空運賃	220,790 円	
海外旅行保険	14,210 円	
研修費用	340,090 円	入学登録料, 授業料, ホームステイ, 空港送迎料, 大学学生保険等を含む。
滞在費	0 円	ホームステイ
食費	5,000 円	休日に遊びに行ったときのお昼代など
交通費	3,000 円	通学バスの運賃など
その他（小遣い, 通信費など）	100,000 円	海外 Wi-Fi のレンタル代や休日に参加したツアー代など
準備費用	100,000 円	スーツケース代や空港までの交通費、前泊したホテルの宿泊代など
合計		約 80,0000 円

★思い出になったエピソードを自由にお書きください。

（写真を添付して、その様子の説明をご記入ください *ここに貼り付けなくても OK です）

3月14日から18日にかけて現地では Balloons Over Waikato という気球のお祭りが毎朝開催されており、学校前に早起きして友達とそこへ行ったことが良い思い出です。色とりどりの気球が目の前で一斉に空へと浮かんでいく様子は本当にきれいでした。丸い気球だけでなく、動物の形をしたユニークなものもあり、見ているだけでとても楽しかったです。



★次年度の参加者へ向けてのメッセージをお願いします！

研修費用は決して手頃なものではありませんが、それでも私はこの研修に参加して良かったと感じています。言語を始め、食事や街並み、生活習慣などの様々な異文化を単に経験しただけではなく、その環境下に置かれた自分自身の成長も実感することができました。英語力が著しく向上したかと言われるとそうではありませんが、自分の英語の未熟さを身に染みて感じたからこそ、もっと頑張りたいという気持ちにさせられました。また、ホストマザーを始め、大学の先生、ツアーガイド、ご近所さん、店員さんなど現地で出会った人は、全員とても優しい方でした。私たちが日本から来たことを知るととても喜んでくれ、興味を持ってくれました。移民の国ということもあり、どのような場面でもウェルカムな姿勢で偏見や差別なく接してもらったことがとても嬉しく、印象に残っています。研修の体制も整っており、フォローも非常に手厚いと感じました。そのため、研修前の私のようにハードルの高い留学や語学研修に少し抵抗がある人も、安心して参加できると思います。是非チャレンジしてみてください。